

●世界の主な地震

平成 25 年（2013 年）5 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

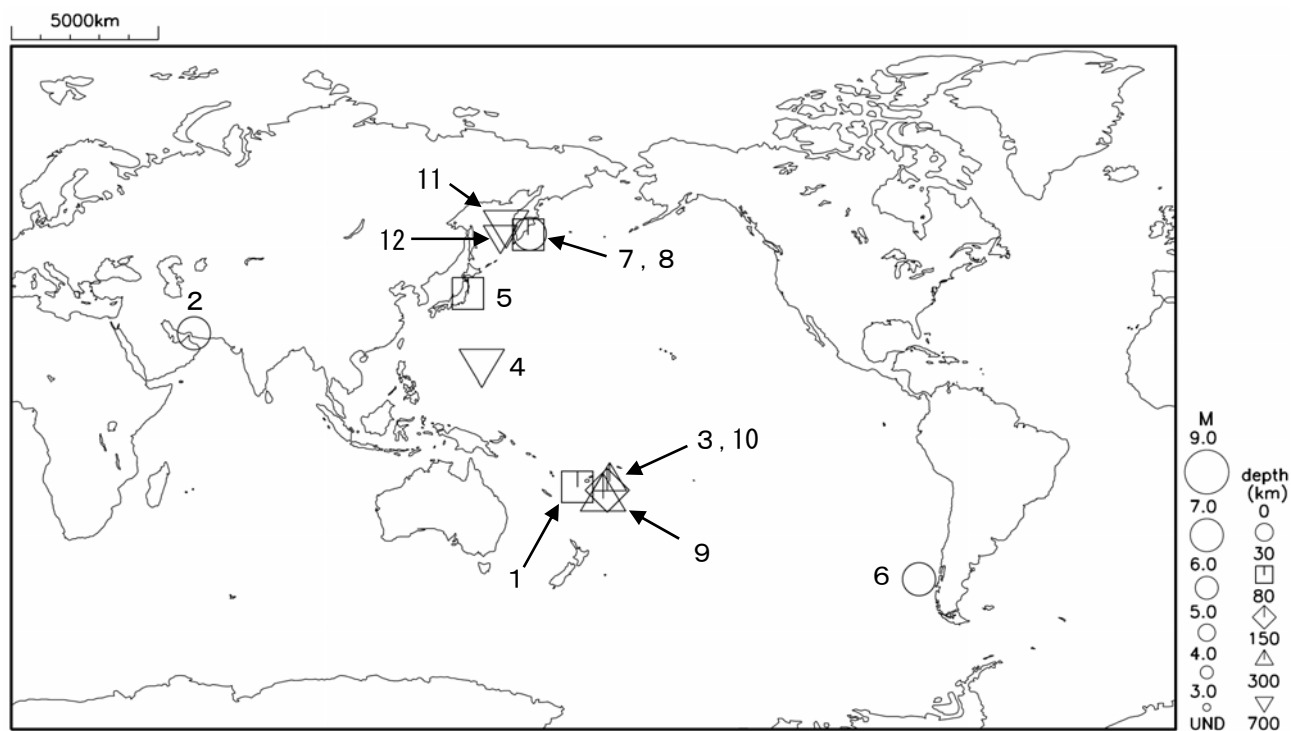


図 1 平成 25 年（2013 年）5 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- * : 震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。
- ** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- ***: マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表1 平成25年(2013年)5月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

| 番号 | 地震発生時刻 | 緯度 | 経度 | 深さ (km) | mb | Ms | Mw | 震央地名 | 備考 (被害状況など) | 北 西 | 遠 地 |
|----|--------------|-----------|------------|------------|-----|-------|-------|---------------------|----------------|--------|--------|
| 1 | 05月07日19時10分 | S19°38.2' | E175°03.8' | 70 | | | 6.0 | フィジー諸島南方 | | | |
| 2 | 05月11日11時08分 | N26°42.7' | E57°53.1' | 14 | | | 6.1 | イラン | | | |
| 3 | 05月12日05時46分 | S17°57.2' | W175°05.9' | 212 | | | 6.4 | トンガ諸島 | | | |
| 4 | 05月14日09時32分 | N18°20.1' | E145°50.6' | 619 | | (7.3) | (6.8) | マリアナ諸島 | | ○ | |
| 5 | 05月18日14時47分 | N37°42.5' | E141°37.7' | 46 | 6.1 | (6.0) | (6.0) | 福島県沖 | | | |
| 6 | 05月20日18時49分 | S44°56.6' | W80°32.4' | 10 | | | 6.4 | チリ南部沖 | | | |
| 7 | 05月21日10時55分 | N52°28.1' | E160°29.1' | 15 | | | 6.0 | ロシア、カムチャツカ 半島東方沖 | | | |
| 8 | 05月21日14時43分 | N52°18.4' | E159°59.1' | 37 | | | 6.1 | ロシア、カムチャツカ 半島東方沖 | | | |
| 9 | 05月24日02時19分 | S23°01.5' | W177°06.5' | 171 | | | (7.4) | フィジー諸島南方 | | | ○ |
| 10 | 05月24日06時07分 | S20°33.6' | W175°49.3' | 149 | 5.8 | | 6.3 | トンガ諸島 | | | |
| 11 | 05月24日14時44分 | N54°52.4' | E153°16.8' | 609 | | | (8.3) | オホーツク海 | | | |
| 12 | 05月24日23時56分 | N52°13.3' | E151°30.9' | 623 | | | 6.7 | オホーツク海 | | | |

- ・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表のQUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による(平成25年6月1日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、マグニチュード(Msの欄に括弧を付して記載)及びMwの欄が括弧つきで記されている地震のモーメントマグニチュードは気象庁に、被害状況は総務省消防庁による。
- ・震源時は日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報(NWPTA)(地震・火山月報(防災編)2005年5月号参照)を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

5月24日 フィジー諸島南方の地震

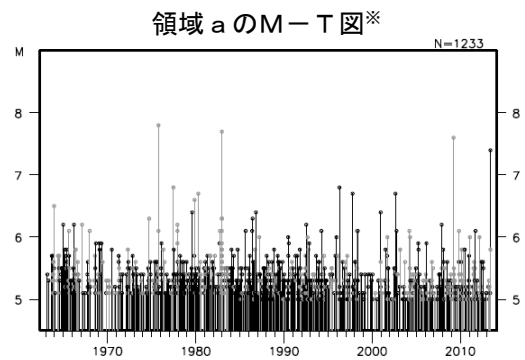
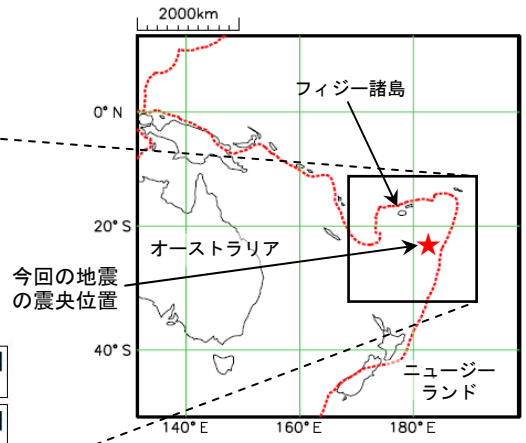
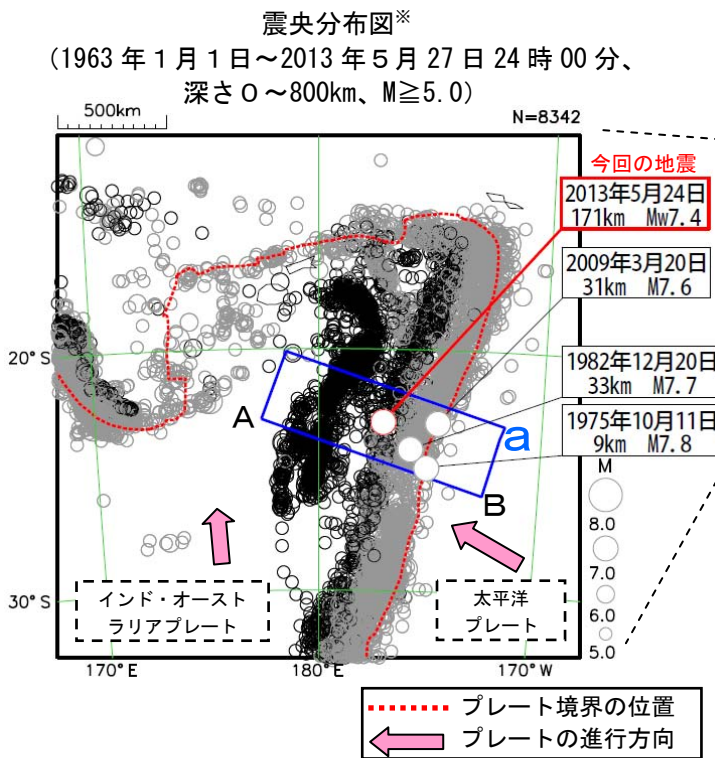
2013年5月24日02時19分（日本時間、以下同じ）に、フィジー諸島南方の深さ171kmでMw7.4の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型であった。

気象庁は、この地震により、同日02時54分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による津波の心配はありません」）を発表した。

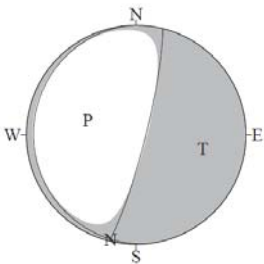
フィジー諸島南方付近は、太平洋プレートがインド・オーストラリアプレートの下に沈み込んでいるところで、今回の地震は太平洋プレート内部で発生した。

1963年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央付近の領域（領域a）では、M6.0を超える地震がしばしば発生しており、M7.0を超える地震も今回の地震を含め4回発生している。

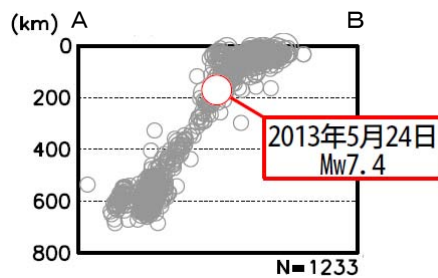
※本資料中、今回の地震のMwは気象庁による。その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。深さ100km以深の地震を濃く表示した。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。



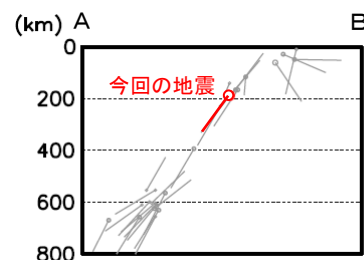
今回の地震の発震機構（気象庁によるCMT解）



領域aの断面図（A-B投影）



領域aの圧力軸の断面図（A-B投影）（M≥6.5、Global CMT解による）**



**印は今回の地震の震源。震源から伸びる直線は、圧力軸の方向を示す。

*** 参考文献**

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4 (3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.